令和７年度　大藤園事業報告

□事業所運営

令和７年度は、前年度に引き続き行事等を行い、大藤園まつり、研修旅行（1泊2日）を行いました。

利用者の様子も、のびのびとした明るい雰囲気で過ごしました。

職員の利用者への対応、支援内容、管理運営等、法令を遵守して運営することができました。

なお、関係行政機関、福祉関係団体、保護者等の良好な関係を維持継続しました。園の営業日は、年間 269 日でした。

（１）利用者の状況報告

令和７年度当初、56 名（週１日利用者含む）でスタートした。利用者２名の退園、１名新規利用で 55 名。

区分	性別	年齢	支援区分	年月日	概要
退園者	女性	40	5	R7.4.30	他入所施設へ
退園者	女性	47	3	R7.8.2	死亡
新規利用	男性	18	6	R8.3.11	

平均年齢は 38.3 歳　平均通所年数 18.9 年

※受給者証に「生活介護加算重度障害者支援」と記載されている者は 16 名。

利用率は 87.1%　一日平均利用者数 47.5 人

支援区分は、以下のとおりで平均支援区分は 4.2

（令和８年３月 31 日現在）

	男（人）	女（人）	合計（人）
支援区分３	6	7	13
支援区分４	14	6	20
支援区分５	10	4	14
支援区分６	8	0	8
合計	38	17	55

（２） 支援計画

個別支援計画については、サービス管理責任者が利用者の強み、特性等に注目して原案を作成し、相談支援事業所と連携するとともに利用者本人、保護者から意向を聞いた上、職員等で十分協議検討して計画を作成して実施した。

（３） 支援内容

支援内容は、班を原則男性、女性班に分け、その中で７名程度の小人数グループを作り活動、支援する。支援については職員担当制ではなく、支援員が利用者の特性に対して全員が同じ支援を行える体制をとることを基本として、 生産活動と生活支援活動（運動、買い物、クラブ活動）を実施した。さらに内容を工夫してリラックスタイム、上映会等を園内で行った。また、書道教室（月２回）、生け花教室（月１回）を行った。

主な行事として、「大藤園まつり」「研修旅行」を実施、ボウリング大会（ロイヤルボウル）、自治会行事として遠足も行った。

令和７年度　行事一覧表

月	行　事　名	場　所
R７．9.14	大藤園まつり	大藤園
〃.10 .16～17	研修旅行(１泊２日)	福岡・柳川
〃.12.9	ボウリング大会	下関ロイヤルボウル
R８．1.24	新年会・成人を祝う会	長府公民館
〃．2.3	豆まき	大藤園
〃 3.10	自治会行事（遠足）	海響館

（４） 職員の動静

職員の動静については、令和７年度は、支援員１名採用（女性 R7.4)、退職はなかった。配置換え１名（王司山田園から大藤園）

（５）研修

職員の資質向上のため必要な研修会等へ参加した。オンライン研修もあった。

＜社会福祉士３名、介護福祉士５名（重複１名）、保育士１名（重複１名）＞

職員研修等一覧表

月日	研修名等	主催	場所	人数（人）
8/22	障害者虐待防止徹底研修会	福祉協会	山口市	1
8/26	安全運転管理者講習	山口県	下関市	1
8/28	サービス管理責任者研修（基礎）（ファシリテーターとして）	ＹＩＣ学院	山口市	1
9/23	発達障害者支援のコツ～役に立つ支援者になるには～	障害福祉サービス協議会	ZOOM	3
11/132	経理事務研究会	県知的障害者福祉協会	山口市	1
11/27	医療保健部会	県知的障害者福祉協会	山口市	1
12/2	障害者虐待防止・権利擁護研修	山口県	ZOOM	1
12/12	山口県西部地区部会	福祉協会	下関市	1
12/16～17	サービス管理責任者更新研修	山口県	山口市	1
2/12	障害者虐待防止研修会	下関市	ZOOM	1

「市自立支援協議会」に参画し会議、研修会に参加した。

月日	研修名	主催	場所	人数
4/11～延11回開催	下関市自立支援協議会「くらしの部会」	基幹相談支援センター	勝山公民館 川中公民館	1
９／２３	山口県障害福祉サービス協議会研修会	基幹相談支援センター	下関市社会福祉センター	3
10.30	合同説明会	下関市自立支援協議会		1

（６）施設整備等

職員が、毎月事業所内安全点検を継続して実施し、事故やけがの防止及び不良個所の調査をして、安心安全、快適な環境になるよう施設点検を行った。

（７）地域における公益的な取り組み

「長府東部地区まちづくり協議会」運営委員会に職員が部長として参画し、行事等を実施して協力した。

１．長府東地区まちづくり協議会への参画

（まちづくり協議会、自主防災組織への参画）

月日	研修名	主催	場所	人数
4/16～ 延10回	長府東部地区まちづくり協議会	長府東部地区まちづくり協議会	長府東公民館	1人

２．長府地区行事等への車輌の貸出及び職員の参加、協力

（長府城下町マラソン大会等）

３．下関長府ライオンズクラブから、花の苗の寄贈があった。園内花壇等に植え町内美化活動に協力した。

４．職員の派遣

月日	内容	派遣先	人数
3/13	下関キャリア教育研究会	長府中	1人

（８）実習生の受入れ

下関総合支援学校、高等部、中等部６人の実習を受け入れた。

実習期間	性別	区　分	学　　年	人数
R7.6.9 ～ 6.13	男	下関総合支援学校	高等部３年生	1人
〃.6.13 ～ 6.20	男	下関総合支援学校	高等部３年生	1人
〃8.25 ～ 8.29	女	下関総合支援学校	高等部３年生	1人
〃10.20 ～ 10.24	男	下関総合支援学校	高等部３年生	1人
〃.11.4～11.14	女	下関総合支援学校	高等部２年生	1人
〃.11.26～11.28	女	下関総合支援学校	中等部３年生	1人

（９）広報活動

本年度は、広報誌「大藤園タイムズ№90号」を令和８年３月に発行した。

（10）防火・防災活動

毎月、消火・避難訓練（地震・風水害を含む）を実施し、非常時の対応の訓練を行った。

（11）給食

利用者全員を対象として、日本人の食事摂取基準に基づいて、個人に合う給食の提供に努め健康の増進を図った。家庭からの要望、支援員が食事の介助にあたり、必要だと考えられる者に対して、量・食事の形態等、利用者個々に合った給食を提供している。

（12）虐待防止委員会の開催

（委員６人：理事長、園長、保護者会長、サービス管理責任者、支援員、利用者）

虐待防止委員会を下記のとおり開催し虐待防止に努めた。

・委員会開催状況

R7．５月から６回開催した。

※身体拘束等の適正化のための検討委員会開催（８月７日）

・「ヒヤリハットの報告」件数５件

職員は、利用者のヒヤリとした様子、事故に繋がるような事案、利用者への接遇等を報告し、職員間で問題等を共有して虐待防止に努めている。さらに委員会に報告、協議して必要な事案については、職員にフィードバックしている。

・「セルフチェックの報告」

職員は、毎日セルフチェックをして報告し、気付きや改善点等意見を出し合っている。取りまとめたものを委員会に報告している。

・「意見箱の投書報告」

特になし

「ヒヤリハットの報告」内容

	内　容	件数	事　例
1	「他利用者」を叩く、つかむ、小突く、噛む	1	・不快を示す行動として、苦手な利用者へ向かい叩く、噛む。 ・通りすがりに叩く、蹴る。
2	器物損壊	1	・ガラスを割る
3	物を投げる	1	・食事の時、ご飯茶碗を投げる。
4	職員のミス	2	・送迎を利用するか、しないかの確認ミス。
5	自分を傷つける		
6	大声をだす		
7	他人の物を触る		
8	排便、放尿		
9	怪我、傷等		
10	「支援員」を叩く噛む		
11	無断外出		
12	送迎中		
13	その他		
	合計	5	

（13）その他

感染予防のため、毎日ドアノブ等の消毒、トイレ清掃を行った。職員も勤務中や外出時のマスクの着用と、出勤前に検温等健康管理し感染予防に努めた。

（14）生産活動（R7）

収入は1,898,272 円と前年度に比べて105,071円の増であった。前年度同様、年間の行事等を配慮して生産活動を行っている。作業内容は受注調整を行い利用者がずっと同じ作業をするのではなく、利用者に合った作業を経験できるよう取り組んでいる。

※利用者一人当り平均工賃　月額約1,992円　（R6　1,925円）

令和7年度　業者別収入実績表

業者名	内容	金額（円） （）前年度	業者名	内容	金額（円） （）前年度
松田商店	ウエス作成	608,685 (343,420)	(株)アートネクスト	印刷物シール貼り等	0 (44,000)
長府工産(株)	部品組立等	403,961 (412,699)	(株)タカハシ包装センター	瓶ラベル貼り	2,604 (4,242)
(株)ムラカワ	自転車部品組立等	0 (114,941)	神生産業(株)	自転車部品組立等	723,136 (777,494)
(株)ウエキ	箸袋詰め	84,006 (100,380)			
(株)キューセン	クリーニング用品	61,080 (76,680)	古紙売却等	段ボール新聞等、	14,800 (15,700)
(株)三和印刷	印刷物シール貼り等	0 (18,586)	野菜売却	きゅうり、トマト等	0
合　　計					1,898,272 (1,793,201)

前年度対比　　105.071円